

# 平成 22 年度第 2 回ルール委員会議事録

開催日時：2010年10月2日（土） 10:00～16:00

場 所：岸記念体育会館

参加者：

<委員> 増田委員長、大村副委員長、前園副委員長、松原、前田（JSAF 専務理事）、柴沼（JSAF 理事）、川北、日下部、西田、秋元、榛葉、中野、小玉、田中、岡部、山口、高野、佐藤(百)、木内、岡嶋、川嵩 計 21 名（欠席 10 名）

<顧問委員> 周東（欠席 3 名）

<支援委員> （欠席 2 名）

<事務局員> 富松、川田、守屋 計 3 名（欠席 4 名）

## 1. 今年度小委員会活動計画

### 1.1 ジャッジ小委員会 …… 山口小委員長

#### 1.1.1 A 級ジャッジ資格要件充足状況と未充足者への対処

- ・平成 22 年度第 1 回ルール委員会後、未充足者数が 6 名となり、今後は、その 6 名に対してそれぞれ連絡する担当委員を決めて、直接連絡することとする。
- ・更新の意思を確認後、更新意志なしの場合には、B 級への変更手続きを行う。

#### 1.1.2 A 級ジャッジ認定講習会開催計画

- ・現時点で、開催予定はなし。
- ・今後、近々国体が開催される県等に講習会開催を打診する。

#### 1.1.3 ジャッジ・セミナー開催/展開計画案

- ・A 級/B 級ジャッジ有資格者を対象に、実践で活用できる講習内容（演習中心）として、2010 年 12 月～2011 年 3 月の土日祝を開催時期に、全国 10 か所程度の会場で、1 日（10:00～16:00）の開催を計画する。
- ・現時点で、7 か所から開催依頼及び問い合わせがある。
- ・参加料やそれに伴う講習会開催の持ち方（運営等）は、今後検討する。
- ・早期に公示する必要があるため、早急に決定する。11 月 13 日（土）の理事会で連絡（広報）できるようにする。

#### 1.1.4 A 級/B 級ジャッジ認定試験問題

- ・現在使用中の試験問題（A 級/B 級）の確認
- ・A 級/B 級ジャッジの位置づけ及び意義について、NJ/NU 規定（特に、13 条）との関係も見ながら、試験内容（レベルも含む。）と講習内容も合わせて検討して今年度内に検討結果をまとめる。
- ・検討するメンバーとして、チーフ（山口）及び、木内を含む複数メンバーとする。後日、直接メンバー当人に連絡・依頼する。

### 1.1.5 ケース・ブック改定邦訳計画

- ・ 9月29日邦訳の第1案が作成され、内容を確認した後、Webにアップ予定

## 1.2 IJ/IU 育成小委員会 …… 増田委員長

### 1.2.1 国際大会への日本人IJ/IU候補者の渡航支援（旅費補助）

- ・ 4大会のうち、旅費・宿泊費とも主催者負担の1大会を除く、3大会に参加する方々の渡航支援（補助）が了承された。

### 1.2.2 IJ/IU Exchange Program 構想（概要等は第1回ルール委員会議事録参照）

- ・ 当面、対象となる大会（江ノ島オリンピック・ウィーク、JSAF sail 和歌山、全日本マッチ、くるる Asia-Pacific マッチ）等で進めることとする。
- ・ IRO についてはレース委員会との調整が必要なため、働きかけるとともに、ルール委員会内では、まずIJ/IUで進める。
- ・ 今後、詳細をつめて来年度の事業計画に組み込み、理事会で承認していただくようにする。

### 1.2.3 IJセミナーの招致

- ・ 現時点では、ほとんど着手できていない。
- ・ 来年度の招致に向けて計画する予定。

### 1.2.4 ISAF11月年次会議における競技規則等に係る主な提案（Submission）について

- ・ Submission についての内容の確認と意見提出を各委員に依頼した。柴沼委員に結果を伝え、ISAF年次総会に持参して頂くこととなった。

## 1.3 アンパイア小委員会 …… 田中小委員長

### 1.3.1 講習会実施報告（5月以降）

- ・ 2つの講習会の概要説明（参加者及びNU更新者数）

### 1.3.2 今年度アンパイアを派遣する大会予定（10月以降）

- ・ 4つの大会概要説明（日程及び場所）

### 1.3.3 NU認定申請

- ・ 8月20日（金）～22日（日）NU認定講習会（葉山マリーナ）  
受講者：3名 合格者：1名（石川雅之）
- ・ 石川雅之さんをNUとして認定することが、承認された。

### 1.3.4 NUの認定証について

- ・ A4判サイズのペーパーによる認定証の交付という提案があったが、現行の規定により、従来のカードを発行することになった。
- ・ 併せて、NU認定者のリストをWebに公開することになった。

#### 1.4 規程小委員会 …… 岡部小委員長

##### 1.4.1 アデンドム Q 邦訳

- ・アデンドム Q 邦訳版を小委員会で確認し、変更案を作成した。
- ・今後、ルール委員会メンバーのメールで確認し、正式版として Web アップ予定。
- ・10月21～24日（Sail 和歌山）での使用に間に合わせる。

##### 1.4.2 ISAF 規定邦訳

- ・小委員会内で変更箇所案の意見収集を行った。
- ・10月末までに、変更案をまとめ、ルール委員会メンバーのメールで確認し、正式版として Web アップ予定。ISAF アンチドーピング規定邦訳についても案をまとめ、JADA に承認を得て、Web アップ予定。

##### 1.4.3 NJ/NU 規程の追加改訂について

- ・主要変更点3点（認定資格要件・委員長特例の整理・手数料内訳の記載）の説明があり、第1回ルール委員会からの取組・経過説明があった。
- ・今後の進め方について、
  - 1 B級ジャッジ認定講習会の経費的な採算性の現状把握を各水域担当者に依頼する。
  - 2 レース委員会や、計測委員会と協議し、手数料の整合性について協議する。
  - 3 改訂の案を作業グループで協議する。その際、改訂のコンセプトを確認し行う。特に、A級及びB級ジャッジの全体の在り方を考えることと、当面改訂が必要な事務取扱い要項の改訂と分けて進め、要項については改訂でき次第先行して公示する。
  - 4 規程と規程細則については、ルール委員会で承認後、理事会に諮る。

#### 1.5 外洋小委員会 …… 大村小委員長

##### 1.5.1 2010年のレースにおける外洋レース規則適用実績例

- ・6レースについて報告があった。

#### 1.6 普及小委員会 …… 前園小委員長

##### 1.6.1 2010年度選手・指導者向けルール講習会

- ・昨年度好評であった選手・指導者向けルール講習会を今年度も全国12か所程度で実施する。
- ・別紙開催要綱について説明があり、詳細を詰めて、10月中に公示し、開催に向けて具体的に進める。

#### 1.7 IJ/IU 候補推薦委員会 …… 大村委員長

##### 1.7.1 2010IJ 候補推薦審査の結果

- ・委員互選により選出された大村委員長から審査の概要及び結果について以下の通り報告があった。

- －申請者 4 名のうち 3 名を推薦することとなった。
- －推薦基準の見直しの検討が必要であるとの見解が出された。

## 2. IJ/IU 推薦基準見直しの提言 …… 増田委員長

- ・IJ/IU 推薦小委員会から推薦基準の改訂を含めた見直しの検討が必要であるとの見解を受けて、ルール委員会での検討依頼があり、増田委員長から見直しについての説明があった。
- ・様々な意見が出され、ワーキング (WG) を立ち上げ、今年度中に案をまとめて、2011 年から適応できるように、現段階でスケジュール (タイムテーブル) を立てて進める。
- ・WG メンバーは、大村、小玉、田中、村松、日下部の 5 名とし、IJ/IU の方々にも適宜アドバイス等をいただくようにする。

## 3. レース委員会との合同会議 …… 前園副委員長

- ・ジャッジ認定料、その他委員会間のバランス、その他の事業についてレース委員会と合同の会議をもち、協議することを検討している。
- ・とりあえずは、2011 年 12 月に合同会議をもつように進める。また、2012 年度は、RRS の改訂に向けた検討にも着手する必要があるため、2012 年 12 月にも実施したいと考えている。

## 4. その他

- ・公益法人化に向けて、ルール委員長が事務局長を務める「最高審判委員会」の名称を、変更する場合は、(ルールブックに準じた名称等) この機会に行う方がよいのではないか。 …… 柴沼委員
- ・12 月 3 日 (土)・4 日 (日) に指導者委員会が開催され、ルールについての講義がある。そのときの講義にて取り上げるべき材料 (今までによく聞かれた質問等) を各委員より提供いただきたい。 …… 川北委員
- ・第 3 回ルール委員会は、2011 年 3 月 5 日 (土)・6 日 (日) の 2 日間、場所は東京以外で考えている。

以上